

表紙に登場した皆さん。10年後の自分は…?

MESSAGE

10年後の自分は

柔軟な考え方の
できる大人になりたい



商学部 商学科1年
安井 達哉さん(九産大付属九州高校)

マーケティングや商業に興味があり、商学部を選びました。予想以上に、ディスカッションなど、能動的で実践的な授業が多く、いつも刺激を受けています。今、目指しているのは、学芸員の資格取得。このほかにもたくさんの資格を得て、卒業までに社会で戦える力を身に付けたいと思います。どんな職業に就いても、多角的に物事を捉え、柔軟な思考ができる大人になれるよう頑張ります!

10年後の自分は

周りから信頼される
大人になりたい!!



国際文化学部 臨床心理学科4年
黒川 祐美さん(京都高校)

3年生の時、精神障がい者の方のグループホームでアルバイトをしました。授業での学びを現場で確認したり、現場での疑問はすぐに授業で解決できたりと、充実した体験でした。卒業後は精神保健福祉士として、精神科の病院で働くことを希望しています。今後は、社会福祉士の資格も取得し、仕事の幅を広げていきたいです。患者さんはもちろん、先輩や後輩からも頼られるような存在を目指しています。

10年後の自分は

新しい形の
"カメラマン"になりたい



芸術学部 写真映像学科3年
白石 凌太さん(東福岡高校)

父がTVカメラマン、母がTVディレクターという家庭に育ち、自然とTVカメラマンを目指すようになりました。大学に入って、映像だけでなく写真にも魅力を感じています。夢は、まずTV局のカメラマンになること。東京オリンピックの中継に携わって、自分の撮った映像を世界に発信したいですね。将来は、映像だけでなく、写真などジャンルにこだわらず、新しい表現を目指したいと思います。

10年後の自分は

家族みんな楽しんで
ものづくりをしたい



九州造形短大 造形芸術学科2年
江島 由里子さん(伊万里高校)

プロダクトデザインを学びたくて、造形短大に入学しました。基礎をしっかり学ぶことができ、制作の幅が広がったことを実感しています。就職先でも、ものづくりに携わります。みんなに喜んでもらえる、今までにない新しいデザインを提案したいですね。10年後は新しい家族ができていますが、子どもと一緒に、ものづくりを楽しんでいきたいです。

九州産業大学 九州造形短期大学 広報誌 **+K** 年4回発行(4月・7月・10月・1月)

「プラスケー」は九産大生の「今」を伝える広報誌です。キャンパス内のさまざまな学生や取り組みを取り上げ、皆さんの学生生活をより豊かなものにする情報を発信しています。

+Kと一緒に制作してくれる、
学生編集スタッフ募集!

メールはコチラ➤ plus_k@ip.kyusan-u.ac.jp

バックナンバーは九州産業大学公式ホームページ
(<http://www.kyusan-u.ac.jp/>)
でご覧いただけます



九産大の公式Facebookページでも
本学のさまざまな情報を発信しています!

キク・
シル・
ウゴク。

現場の声を謙虚に聞き、現場で起きている事実の意味を知る、それに基づいて現場で動く。「キク・シル・ウゴク」は、「産学一如」の建学の理想の精神であるとともに、九州産業大学の「行動の合い言葉」です。

寄付金の
お願い

教育・研究環境の整備充実を目的として、一般寄付金の募集を幅広く行っています。本学園の教育・研究の取り組みをご理解いただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。詳しくは九産大ホームページをご覧ください。

(お問い合わせ先)九州産業大学総務部総務課 TEL 092-673-5525



本学は、公益財団法人大学基準協会による
認証評価の結果、大学基準に
適合しているとの認定を受けています。



本学は、一般財団法人短期大学基準協会による
第三者評価の結果、適格と認定されています。

